



# 平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年8月6日

上場会社名 関西電力株式会社

(コード番号: 9503 東証・大証・名証第1部)

(URL <http://www.kepco.co.jp>)

問合せ先 代表者役職・氏名 取締役社長 藤 洋作  
責任者役職・氏名 経理部長 杉本 康

TEL: (06) 6441-8821

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(新規) 1社

## 2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	581,032	0.3	104,827	18.6	82,877	29.0	48,746	27.8
16年3月期第1四半期	579,190		88,401		64,261		38,152	
(参考)16年3月期	2,540,156		349,492		187,380		90,111	

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	51	77	50	21
16年3月期第1四半期	40	34	39	22
(参考)16年3月期	94	77	92	82

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

### [経営成績の概況]

当社グループの主たる事業である電気事業では、気温が総じて前年より高く推移し冷房需要が増加したことに加え、景気の回復傾向に伴い、輸出や設備投資が増加するなど企業の生産活動が堅調であったことから、総販売電力量は、333億6千万キロワット時と、前年同期にくらべて2.1%増加となりました。

これに伴い、電気事業における電灯電力料収入が増加したことなどから、売上高は5,810億円と、前年同期にくらべ0.3%の増加となりました。

一方、支出面では、グループを挙げての経営全般にわたる徹底した効率化の推進などにより、営業費用は4,762億円と前年同期にくらべ3.0%の減少とすることができました。

以上の結果、当四半期の営業利益は1,048億円(前年同期比18.6%の増加)となり、これに営業外損益を加えた経常利益は828億円(前年同期比29.0%の増加)、四半期純利益は487億円(前年同期比27.8%の増加)となりました。

### (参考) 販売電力量

(百万 kWh、%)

	17年3月期 第1四半期	16年3月期 第1四半期	前年同期比
電 灯	10,035	9,821	102.2
電 力	23,323	22,857	102.0
計	33,358	32,678	102.1

(注)「電力」には、特定規模需要を含む。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	7,126,214	1,650,094	23.2	1,752 13
16年3月期第1四半期	7,380,510	1,571,374	21.3	1,660 63
(参考)16年3月期	7,150,826	1,637,248	22.9	1,729 57

[ 財政状態の概況 ]

当四半期での設備投資額は、電気事業で一層の効率化を推進したことなどにより、前年同期にくらべ85億円減少の609億円（前年同期比12.3%の減少）とすることができました。

当四半期末の総資産は、設備投資の抑制などを受け、前年度末にくらべ246億円減少の7兆1,262億円（前年度比0.3%の減少）となりました。

また、当四半期末の有利子負債残高は、法人税や配当金の支払い等の季節的な資金需要に対応するためコマーシャル・ペーパーなどを活用した結果、前年度末にくらべ430億円増加の3兆9,266億円（前年度比1.1%の増加）となりました。

当四半期末の株主資本は、期末配当金の支払いや自己株式の買受けを行ったものの、四半期純利益の計上により、前年度末にくらべ128億円増加の1兆6,500億円（前年度比0.8%の増加）となりました。この結果、株主資本比率は23.2%と、前年度末にくらべ0.3%向上いたしました。

なお、自己株式の買受けは、株主利益の増進と資本効率の向上を図るとともに、市場における当社株式の需給状況を改善することを目的として、買受株数495万株、総額96億円にて本年4月に実施しております。

これらの結果、1株当たりの株主資本は22円56銭増加し、1,752円13銭となりました。

3. 平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

平成17年3月期の連結業績予想（中間期・通期）について、平成16年5月に公表いたしました予想数値（当初予想）からの変更はありません。

平成17年3月期の連結業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	億円	億円	億円
中間期	12,800	1,900	1,210
通期	24,800	2,000	1,250

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 132円73銭

なお、当社は、平成16年10月1日を目途として、関係会社を再編することを予定しております（詳細は別添資料参照）。これに伴い発生する損失が、当初予想からのマイナス要因となりますが、その他の収支変動要因も考慮して、当初予想は変更していません。

以 上